資 料 2－2

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE1）を活用した事業

公共施設予約システム導入事業（令和 6 年度）

1．デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の概要・目的

■デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援するもの。TYPE1 は、他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを地域・暮らしに実装する取組が対象となる。（補助率 1/2）

2．効果の検証

■本交付金の活用にあたっては、事業の実施状況に関する客観的な指標である KPI（重要業績評価指標）を設定のうえ、その達成状況について、原則、毎年度検証するよう努めることとされている。

《検証方法》

毎年度、本交付金を活用した事業について、事業実施年度の翌年度に市が取りまとめた上で、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、KPI の達成状況も踏まえ、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現のために有効であったか否かの検証を行う。

3．清須市における本交付金を活用した事業

■令和 6 年度は、本交付金を活用して「公共施設予約システム導入事業」を行った。

《解決を図る地域課題（主なもの）》

- 施設利用のための抽選に参加するためには、毎月 1 日に施設の予約抽選のために受付施設まで直接足を運ぶ必要があり、仕事をしている現役世代などは思うように施設を予約し、活用することが難しい状況となっていた。
- 令和 5 年 4 月から、住民票等の発行手数料についてはキャッシュレス決済での支払いに対応したが、施設使用料についてはまだ対応していなかった。

4．事業概要

■施設予約システムを導入することにより、利用者が 24 時間・どこにいてもスマートフォンなどを使用して公共施設の予約状況を確認し、利用申請を行うことができる環境を整備する。
また、併せて施設利用料の支払いをキャッシュレス決済に対応することで、住民の利便性向上を図るとともに、生涯学習講座等のイベントへの参加申込をシステムから行うことができるようにすることで、幅広い世代の講座への参加促進を図る。

■対象施設　22 施設（令和 7 年度末時点。うち社会教育施設 3 施設、体育施設 17 施設ほか、令和 7 年度中に新たに 2 施設で運用を開始）

■実施事業費　総事業費：14,850,000 円　補助額：7,425,000 円

5．事業の成果を複数年にわたって計測するための KPI

	令和 6 年度末（導入時点）		令和 7 年度末（運用 1 年目）		令和 8 年度末（運用 2 年目）
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
施設予約システムの対象施設数	20 施設	20 施設	22 施設	31 施設	31 施設
対象施設の利用申請に係るオンライン申請割合	－	－	31%	30%	50%
対象施設の利用料に係るキャッシュレス決済割合	－	－	35%	30%	50%
システム利用者の満足度（※）	－	－	43%	60%	80%
キャッシュレス決済利用についての満足度（※）	－	－	53%	60%	80%

※利用者アンケート調査を毎年 2 月頃に実施予定

6．実施の結果

施設予約システムの導入により、利用者が 24 時間・どこにいてもスマートフォンなどを使用して公共施設の予約状況の確認・利用申請を行うことができる環境を整備するとともに、キャッシュレス決済への対応を行い、施設利用者の利便性向上を図ることができた。対象施設の利用申請に係るオンライン申請割合（実績 31%）及びキャッシュレス決済割合（実績 35%）は、いずれも令和 7 年度末目標（30%）を達成した。

一方で、対象施設数（実績 22 施設／目標 31 施設）、システム利用者の満足度（実績 43%／目標 60%）及びキャッシュレス決済利用についての満足度（実績 53%／目標 60%）は目標に達しなかった。特に社会教育施設等では高齢の利用者が多く、予約時の入力手続の煩雑さや予約・支払期限の短さが満足度の伸び悩みの一因と考えられる。

今後も引き続き、事業の成果を複数年にわたって計測するための KPI の達成に向けて、対象施設の拡大に取り組むとともに、制度面とシステム面を分けた利用者アンケート調査を実施し、ニーズ等を的確に把握しながら、幅広い方が利用しやすい運用に努めていく必要がある。